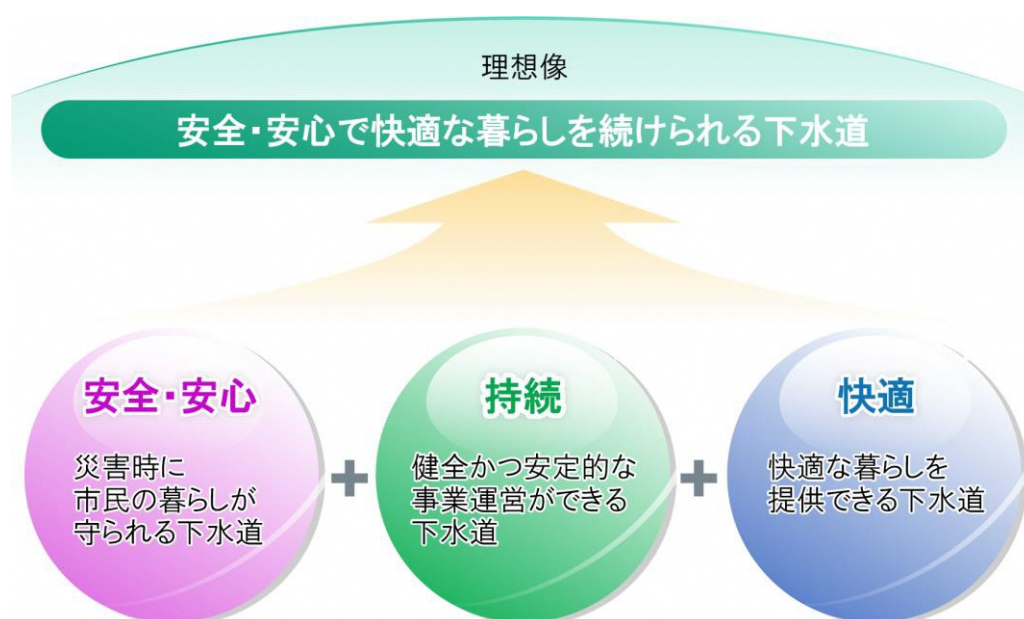


下水道事業ビジョン〔中間見直し〕（骨子案）

1. 見直しの趣旨

下水道事業ビジョンは令和 2 年度からの 10 年間を計画期間として策定しているが、その折り返し地点である令和 7 年度において、前期のまとめとして点検を行い、この間における事業環境の変化に対応した見直しを行うとともに、後期の計画期間に係る施策について所要の見直しを行うもの。

2. 目標設定における中間評価



3. ビジョン策定時からの事業環境の変化（見直し内容）

3-1 下水道施設の耐震化

- ・耐震調査診断の結果、重要な幹線等の耐震性は確認できたことから、その他の幹線について耐震化施策の前倒し実施。

3-2 包括的民間委託による下水道事業の充実

- ・包括的民間委託の導入により、下水道施設における維持管理業務の拡大。
 - ①計画的点検及び調査に基づく維持管理と更新の一体マネジメントによる下水道施設の保全の確立
 - ②WPPP3.5 の枠組みによる下水道管路改築時の国庫補助金の確保
 - ③オペレーションメンテナンス分野、カスタマーサービス分野の充実

3-3 東部丘陵地開発による下水道の整備

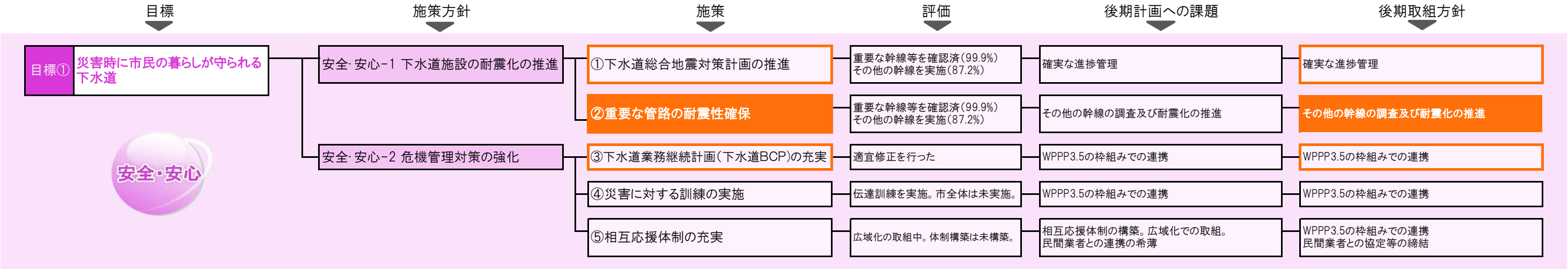
- ・東部丘陵地開発及び京都府における広域化事業として、京都府流域下水道への宇治田原町の編入に伴い実施される木津川東部幹線の整備による東部丘陵地（中間エリア）開発区域の下水道処理の具体化。

4. 後期計画に反映させる事項

3. の事業環境の変化に加え時点修正が必要な事項

- ・実績をもとにした指標等
- ・起債制度の変更による財政計画

5. 後期計画の施策内容の見直し
実施内容の見直しの具体的事項

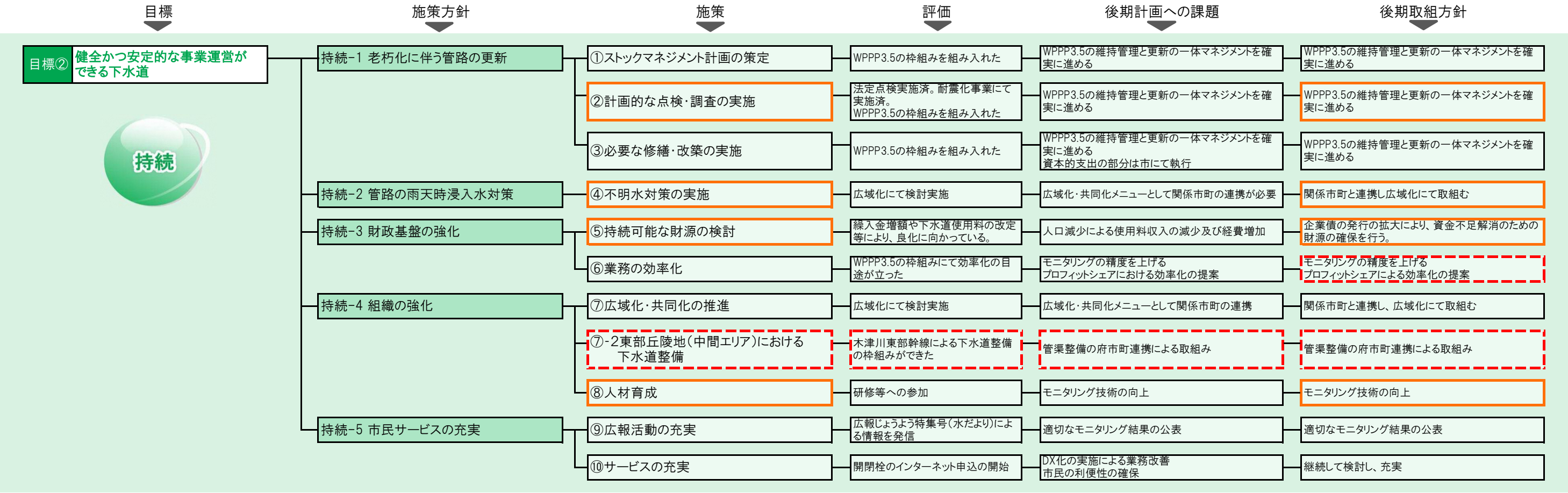


最重点施策: 重点施策: 追加重点施策:

目標設定における中間評価

目標設定	指標		単位	平成30年度	令和6年度	自己評価	令和11年度
管路の耐震性確保	管路の耐震化率	重要な幹線等	%	43.7	99.9	○	100.0
		その他の幹線	%	0.7	87.2	○	推進 ⇒ 100.0
		重要な管路	%	21.7	93.6	○	49.2 ⇒ 100.0
危機管理対策の強化	下水道BCPの内容充実		－	作成（簡易版）	検討（簡易版）	→	充実
	災害訓練の定期的実施		－	非定期的に実施	流域下水道の訓練に参加	→	5年に1回以上実施
	相互応援体制の充実		－	近隣団体や協会と連携	継続実施	→	充実(連携先増)

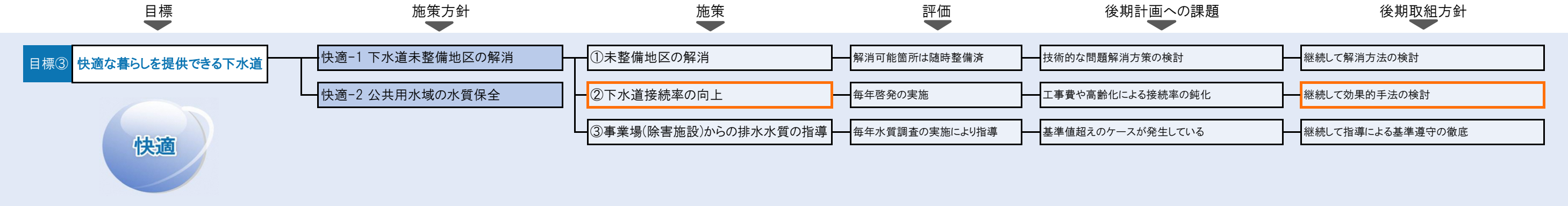
自己評価 ○：達成 →：継続 ×：未達成



目標設定における中間評価

目標設定	指標	単位	平成30年度	令和6年度	自己評価	令和11年度
老朽化に伴う管路の更新	下水道ストックマネジメント計画の策定	－	未策定	検討	→	策定
不明水対策の実施	有収率	%	98.4	97.6	→	98.5
財政基盤の強化	企業債残高対使用料収入比率	%	1,744.10	1,274.20	→	1,000 ⇒ 1,120以下
	処理区域内人口1人あたりの企業債残高	千円	287.2	235.2	→	200 ⇒ 210以下
	企業債残高実数	百万円	21,805	17,111	→	12,000 ⇒ 14,400以下
組織の強化	広域化・共同化に関する計画の検討	－	未検討	検討	→	検討継続

自己評価 ○：達成 →：継続 ×：未達成



目標設定における中間評価

目標設定	指標	単位	平成30年度	令和6年度	自己評価	令和11年度
下水道接続の向上	接続率	%	93.2	96.2	→	97.5
	下水道への接続啓発活動の推進	－	継続	継続	→	継続

自己評価 ○：達成 →：継続 ×：未達成